

# 工事現場の壁に絵 アートで通りを明るく

大山

大規模な再開発が進むハッピーロード大山商店街(板橋区)では、アーケード通りの工事現場に、約90坪にもわたる仮囲いが設置されている。

そこで商店街振興組合は、通りを行く人の心を盛り上げようと、無機質な殺風景な仮囲いの白壁に大きく明るい絵をリアルで描き上げ、その後展覧する「ハッピーロード大山ストリートアート」を10月2日に始めた。

キャンパスは商店街テラスステージ正面、



ストリートアート制作中。道行人が足を止めて眺める

縦3.5m×横6.5mの仮囲いの面。塗料を塗ることでできる塩ビシートが貼られている。

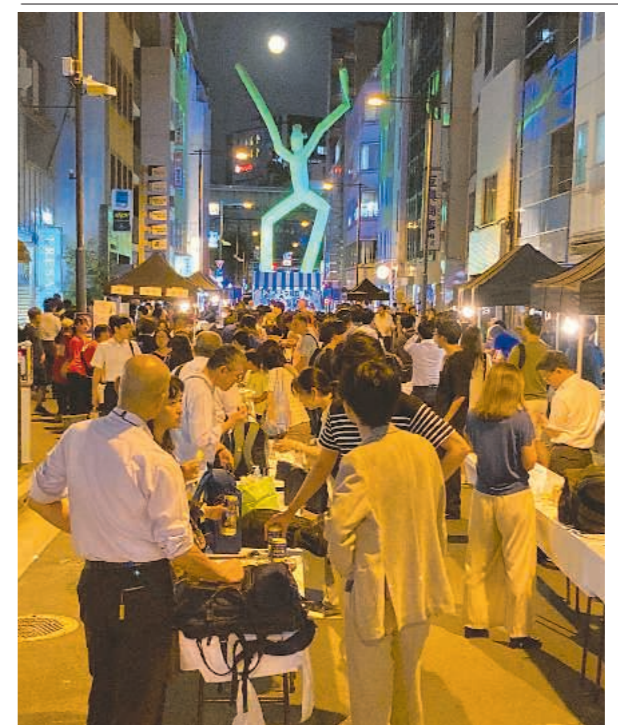
ポランディアで描くのは、商店街が公募した中から選んだ区内在住のMitsuko Tachibana(38)。完成予定の絵にインパクトがあったこと、温厚な人柄で選ばれたという。

Akinoさんは「ハッピーロードは身近な商店街。通った時に貼ってあったアーティスト募集チラシが目に入り、絵を描くことが好きだったので応募した」とのこと。

本業は会社員なのだが、平日の創作活動は買ひ物客らの目を惹きつける。

出世不動通り

## 路上が居酒屋に 「ここで飲めば出世」



バルーン人形の背に中秋の名月

出世不動通りの商店街(千代田区)が年に一度開く路上宴会「神田技芸祭 おとな縁日」が9月29日、4年ぶりに行われた。

約400坪の通りを車両通行止めにして午後6時から9時半まで、ステージや座敷を設けにぎわった。

JR神田駅西口から通りへ入ると、ビルの間隙に巨大なバルーン人形が出現。これを自らに、仕事帰りの会社員や近隣住民らが続々と集まっていく。

祭りは、興行を知らせるやぐら太鼓や、大学相撲部による四股の披露もあった。

また居酒屋発祥の地にもちちなみ、神田創業の造り酒屋が提供する酒たるをリサイクルした、神田祭の神酒所の竹と畳で作った座敷などが登場。「ここで飲めば出世まらがない」の名物イベントとなっている。

青果店を営む商店会副会長の渡辺一章さんは「昭和のイメージをコンセプトに再現している。路上に畳を敷いて飲んだらおもしろいんじゃないかな」といって企画を持ちよるながら毎年やってきたと言った。

商品券が当たる福引や、出世みくじ、出世ライブステージほか、限定の出世御朱印なども盛り上げた。

深川資料館通り

## かかし155体ずらり 「収穫祭」でコンクール



通りに並んだかかし

田んぼじゃないのに、かかしが並ぶ商店街としておなじみの深川資料館通り商店街協同組合(江東区)が、恒例のかかしコンクールを実施した。

昨年までは9月開催だったが、ハロウィーイベントと合わせた「清澄白河収穫祭」にリニューアルし、10月6、31日に開催した。1998年に始まったコンクールは26回目を迎えた。

今年のテーマ「ハロウィン」「清澄白河」「自由部門」に沿ったアイデアいっぱいのかかし155体のコンクールに、約800坪の通りにすらり並んだ。

目立つのは、八冠を達成した藤井聡太棋士や、英国でフレイクした芸人・とにかく明るく安村さんなど、世相を反映したもの。

地元小学校の3年生が図画工作科の授業で作ったためか、スポーツ選手やマンガ・ゲームのキャラクターも多い。もちろん正統派のかかしも、ハロウィーの象徴ジャック・オー・ランタンもあり、個性豊かだ。

今年も、組合員からウレシだ。これが応募「かかしが大きいと危ないのでは」との声も多かったと好評だ。受け、分部署長が理事の長が竹と藁製する。小物店を営む田舎雄太郎・広報部長は「今年かかしコンクールの運営を主導することになり、資

料館通りは東京都現代美術館へ行く人が多いので、作品を熱心に見てくれ、会話が生まれて、心が癒される。だがそれ以上にうれしいのは、子供たちが喜んで見に来る姿だ」といふ。

### 墨田

## バルでお得に街歩き 電子チケット発売中

墨田区商店街連合会が11月22、26日、電子チケットを利用した「すみだまるごとバル」(チラシ)を期間限定で発売する。

特徴は、「食事」だけでなく、メイクアップや衣料などの「買い物」、美容やワークショップなどの「体験」とジャンルを幅広く構成されていること。区内全域で約200の参加店舗が対象のト×5枚綴りの計算で4000円分を2800円で提供している。当日チケットは4000円。

参加者は、公式サイトや区内で入手できるバル用ガイドブックに

掲載されているリストの中からお目当ての店に行き、ドリンクとフードを選んで飲食したり、せっけんの手作り体験したり、眉毛カットのサービスを受けたりできる。チケット2枚や3枚で利用できるマッサンなどのメニューもある。

支払いは店内のQRコードを読み取って完了となる。

使い切れなかったチケットは「あとバル」で、28日から電子マネーとして由単位で利用できる。こちらは12月10日まで。

詳しくはバルの専用サイト(QRコード)

**SDGsを知ろう**  
持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)は17のゴールと169のターゲットで構成されています

**ゴール16 平和と公正をすべての人に**  
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

### 日本での課題

交戦権を放棄し、国内の紛争も少ない日本ですが、一方で虐待が増加しています。警察庁の犯罪情勢統計によると、児童虐待の疑いで日本全国の警察が児童相談所に通告した18歳未満の子どもは10万6,960人、前年比8.9%増となりました(2020年度)。通告の内訳は心理的虐待、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待の順に多くなっています。摘発件数は2,131件と過去最多になっています。

児童虐待への認識が高くなったことで、児童相談所や福祉事務所などに「虐待かもしれない」との通告や相談は増加しています。被害者を減らすために社会全体で見守ることの重要性はますます高まっていると言えます。これに限らずですが、ひとつごとにしないことが大切です。

**《ゴール16には12個のターゲットがあります》**

- 16.01 地球上からあらゆる暴力と、暴力による死をなくそう
- 16.02 子どもに対する暴力・虐待・搾取・人身売買・拷問をなくそう
- 16.03 すべての人が法によって平等に守られる社会に
- 16.04 お金や武器の違法取引を減らし、犯罪集団を駆逐しよう
- 16.05 汚職や賄賂を大幅に減らそう
- 16.06 正しく機能し、正しい情報を発信する公共機関へ
- 16.07 誰もが意思決定に参加できる社会へ
- 16.08 開発途上国が、もっと意見を言える世界へ
- 16.09 すべての人に、身分証明書を
- 16.10 一定のルールのもとで、誰もが必要な情報にアクセスできるように
- 16.a 世界中が協力して、暴力・テロ・犯罪に立ち向かおう
- 16.b 差別のない世界を、そのための法律や政策を

\*都振連発行『商店街のためのSDGs入門』より

## 魅力ある街づくりのためには “振興組合化”から!

**振興組合設立のためには?**  
振興組合を設立するためには、発起人が**7人以上**おり、次の3つの要件を満たすことが必要です

- ①小売商業、サービス業を営む者が**30人以上**近接して商店街を形成していること
- ②他の商店街振興組合の地区と重複しないこと
- ③その地区内の**組合員有資格者の2/3以上が組合員となり、かつ、総組合員の1/2以上が小売商業またはサービス業であること**

**振興組合設立のメリットは?**

- ①人的なまとまりが強くなり組織力が強化されます
- ②組合運営および会計が明確化され新規加入促進につながります
- ③法律に基づく法人であるため、社会的な信用が高まります
- ④国や都、区市など行政の助成金や施策が活用できます